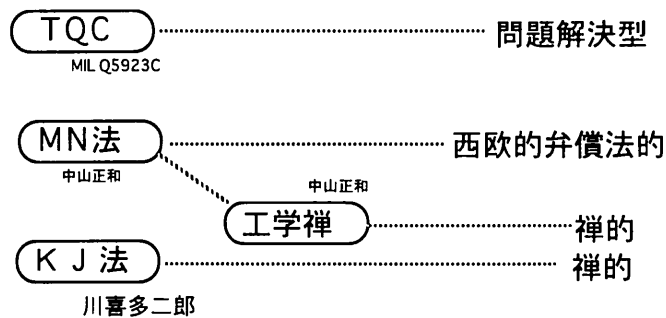
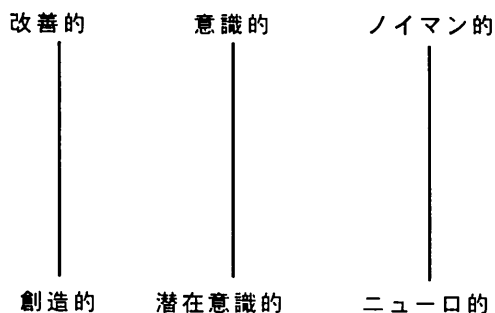


発明とは

知識の新しい組み合わせ

発想の技法



知識と知恵

知恵が出るとき

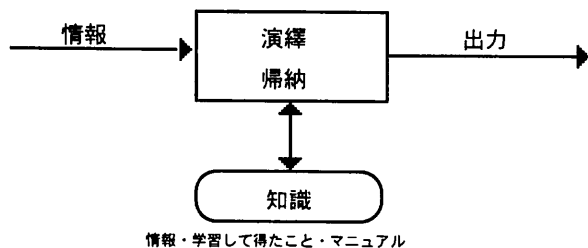
好きなことをしている時

ピンチになった時

そのことだけを考える。

知識です仕事

ノイマン型コンピューター・エキスパートシステム



帰納・多くの情報からある法則性を見付ける。  
演繹・情報をおある法則に照らし合わせて判断する。  
考えるというのは演繹と帰納を繰り返すこと(分析)

仮設定...創造

ニューロ型コンピューター・学習型コンピューター

同じシナプスに繰り返してインパルスが与えられると、その部分の電気抵抗が減少する。

忘却曲線

思考もコンピューターシステムも仕事システムも

ノイマン型よりニューロ型、階層型(ツリー型)よりネットワーク型

ポアンカレ・岡の説

- 1) 理性的努力がなければ発見は起きないが、それが起きるのは理性的努力のあとだいぶ経ってからである。
- 2) 一時に全て判る。
- 3) 理性が予測したことの枠外にある。
- 4) 間違いが無いという確信がある。
- 5) 鋭い敏びがある。

長い間毎日毎日そのことを考え、考え尽くした。もうへとへとになって考えられない。もうアカンかとも思う。……。目が覚めると押入が開いてそこには全てが揃っていた。(岡潔)

理性的修行努力が新たなイメージとして右脳に熟成される。

情報を集める(正見)。理詰めを考える(左脳思考)。コンデンスして積み上げる。情報の山は時間に従って崩れる(エントロピー)。結合しないものは崩れやすい。崩れる速さ以上の速さで積み上げて、臨界点・スレスホールドに達する。テキストよりもグラフィック(情報も・思考も)

ONKYO TekNetの必要性と活用。手元に全てのデータを判りやすく。垣根を造らない(情報ネット確率密度分布)。障りを排す。妄想を排す。

詰めてする。一心不乱にする・理詰め合理的にする。(この辺からは一人)。思考補助機(思考を助けてくれるシステム、思考を妨げては駄目)。仕事システムも同じ。

希望的・楽観的・楽しく

人事を尽くしたころ潜在領域が働き始める。イメージ思考。仕事の夢を見る。潜在域に全てがある。

脳内のチェックシステムが潜在域への抵抗を高める。不快なこと。妄想。

天命。押入が開く。風呂のなか。朝の目覚め。リンゴが落ちたとき。

いつもいつも大変な思いをすることはありません。何度かの小波を繰り返して最後の大波は5年に一回で十分です。30人なら1年に6つの大成果です。

